

新型コロナウイルス感染症治療薬について

すっかり寒くなりました。いよいよ冬本番になりますが、冬の感染症も流行中です。インフルエンザはコロナを上回る勢いで増加しています。10月からコロナの治療薬が自己負担金が発生しているのをご存知でしょうか？今回はコロナの治療薬の負担金について取り上げます。

主なコロナの治療薬とは

コロナの治療薬は飲み薬と点滴があります。のみ薬はラゲブリオ、パキロビットパック、ゾコーバなどです。点滴はバクルリーという点滴です。これらの薬剤はかなりの高額でしたが、これまでは公費負担でした。患者負担額がなかったのですが、10月から自己負担金が発生することになりました。

医療費の自己負担割合に応じて、上記治療薬の薬剤費として、自己負担が発生します（これを超える部分は、公費で負担）。

3割負担の方：9000円

2割負担の方：6000円

1割負担の方：3000円

上記の薬剤共通に負担金が発生、医療機関の窓口で請求されることになります。

コロナの薬は必ずしも飲まないといけないというわけではありません。高額であるため、当院でも患者さんと相談して医師が処方します。コロナの治療薬以外にも咳止めや解熱鎮痛剤を希望する方も多いようです。コロナに罹患した方は医師と相談してどの薬を服用するかご検討ください。

インフルエンザ発生状況 11/6~11/12

札幌
1957人

帯広
356人

中標津
72人

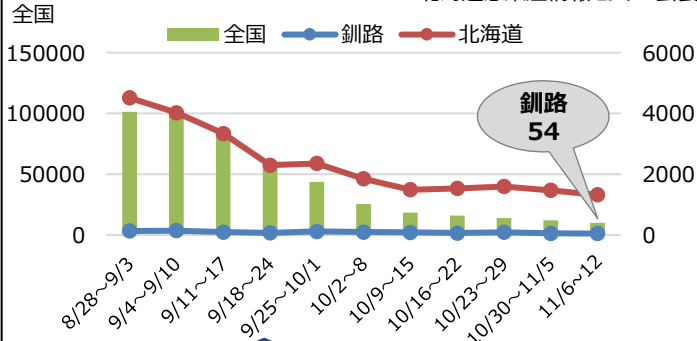
釧路
316人

根室
19人

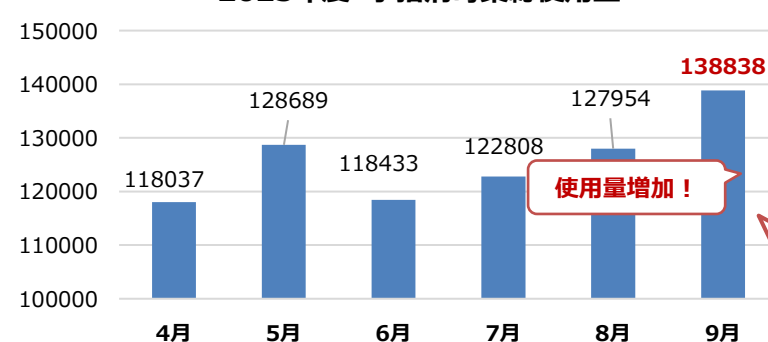
札幌、中標津はやや減少しましたが、釧路・根室は増加。特に帯広・釧路はギリギリ警報になる1歩手前です。ワクチン接種、感染対策を徹底して乗りましょう。

COVID-19陽性者報告数

北海道感染症情報センター公表



2023年度 手指消毒薬総使用量



釧路管内ではコロナの陽性者は大きく変化ありませんが、インフルエンザはかなり増加しています。コロナもインフルエンザもワクチンは重症化予防に効果があるとしています。コロナのワクチンはまだ、公費負担です。この機会にワクチン接種について検討してみてください。

手指消毒の使用量は前月より増加していますが、部署によっては使用量に個人差もあります。手袋を交換しないで患者さんに接している場面も見られます。手袋より手指消毒の方が効果高いです。必ず手指消毒を！

新型コロナウイルス感染症及びその他の感染症対策のお願い

すっかり寒くなりました。コロナは減少していますがインフルエンザの方が流行中です。発熱や発疹などがある際には直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。症状が続く場合はかかりつけ医等にご相談下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いは1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は外出の自粛が求められます。症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。または、北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センターにお問い合わせ下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

